

2016年3月期第2四半期 決算説明会

2015年10月30日
株式会社トプコン
代表取締役社長 平野 聡

2016年3月期第2四半期 決算説明会

I

2016年3月期第2四半期決算報告

II

2016年3月期通期計画

III

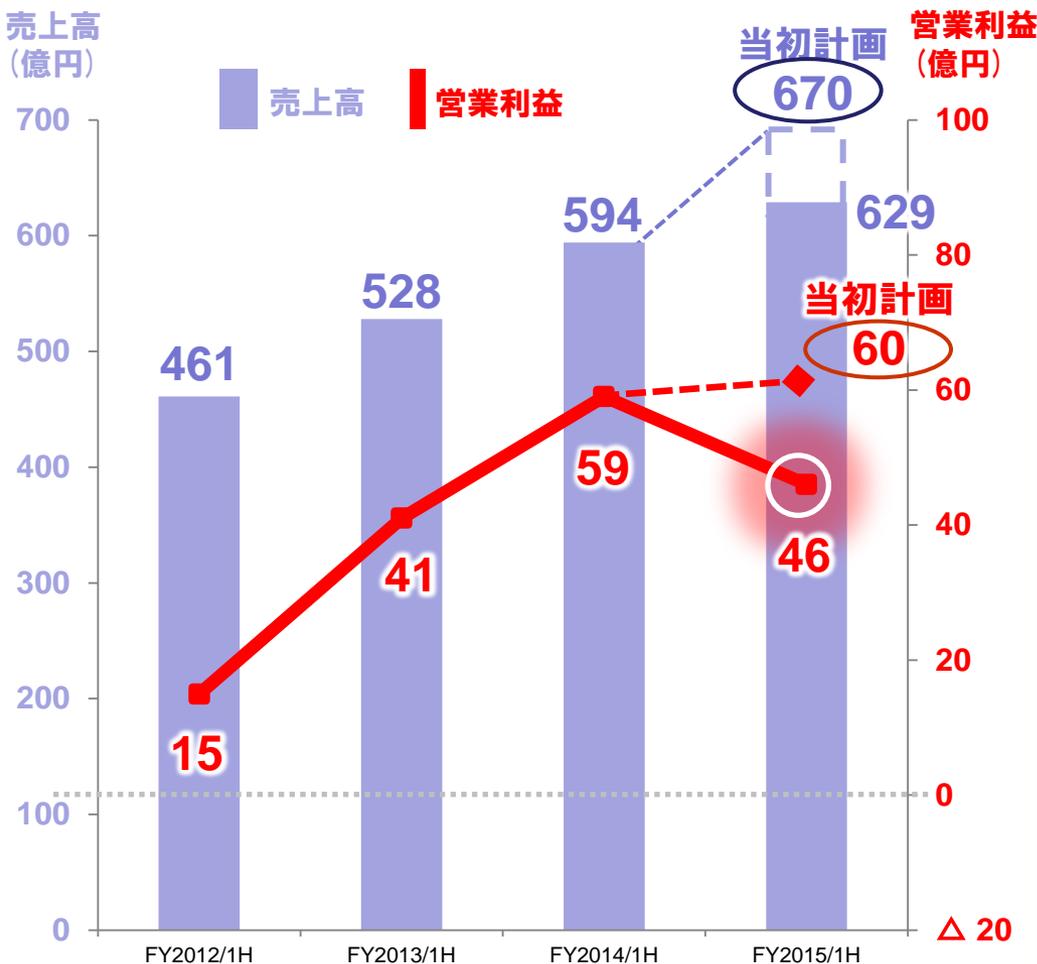
参考資料

I. 2016年3月期 第2四半期決算報告

I-1. 2016年3月期第2四半期決算報告

I-2. カンパニー別状況

上期業績推移



増収傾向にあるも 収益は踊り場

・ECCは増収・増益

売上高

- ・POC: IT農業の停滞は底打ち感はあるものの回復遅れ
- ・SIC: 普及型トータルステーションの一時的停滞

営業利益

- ・販管費削減に着手するも売上減分を吸収できず。

FY2015 上期実績

(単位: 百万円)

[連 結]		FY2014/1H	FY2015/1H		2015年7月31日
		実績	実績	前年同期比	公表値
売上高		59,402	62,933	3,531	67,000
売上総利益 (売上総利益率)		29,566 (49.8%)	32,996 (52.4%)	3,430	
販管費		23,660	28,375	4,715	
営業利益 (営業利益率)		5,905 (9.9%)	4,620 (7.3%)	△1,285	6,000 (9.0%)
営業外損益		△265	△600	△335	
経常利益		5,640	4,019	△1,621	5,700
特別損益		-	216	216	
税引前利益		5,640	4,236	△1,404	
純利益*1		3,489	2,426	△1,063	3,100
中間配当		8 円	12 円	4 円	12 円
為 替 換算レート (期中平均)	USD	103.51 円	121.50 円	17.99 円	118.62 円
	EUR	139.07 円	134.60 円	△4.47 円	132.21 円

*1 会計基準の改正により、連結財務諸表では「親会社株主に帰属する四半期純利益」と記載されています。

FY2015 上期カンパニー別実績

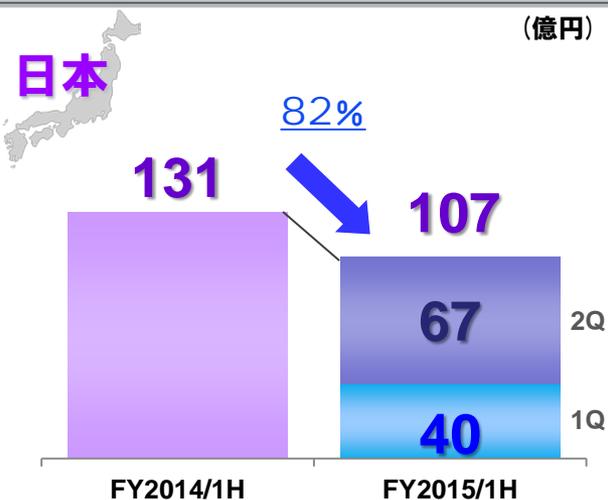
＜アイケアカンパニー増収・増益＞

(単位: 百万円)

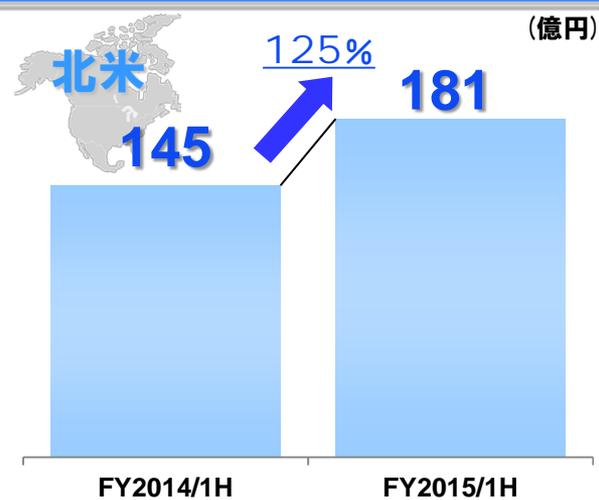
[連 結]		FY2014/1H	FY2015/1H		2015年7月31日
		実績	実績	前年同期比	公表値
売上高	ポジショニング	27,383	31,445	4,062	32,000
	スマートインフラ	15,639	16,231	592	19,000
	アイケア	18,582	19,510	928	21,000
	その他	3,493	2,820	△673	2,500
	消去	△5,697	△7,073	△1,376	△7,500
	合計	59,402	62,933	3,531	67,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	2,929 (10.7%)	1,853 (5.9%)	△1,076	2,500 (7.8%)
	スマートインフラ	2,242 (14.3%)	1,883 (11.6%)	△359	2,500 (13.2%)
	アイケア	1,462 (7.9%)	2,058 (10.5%)	596	2,000 (9.5%)
	その他	136 (3.9%)	94 (3.3%)	△42	200 (8.0%)
	調整	△866	△1,269	△403	△1,200
	合計	5,905 (9.9%)	4,620 (7.3%)	△1,285	6,000 (9.0%)

国内・海外売上高

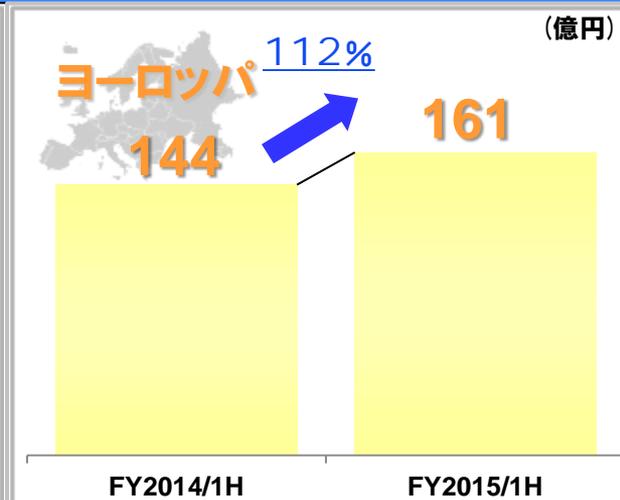
〈欧米、中国、アジアは堅調〉



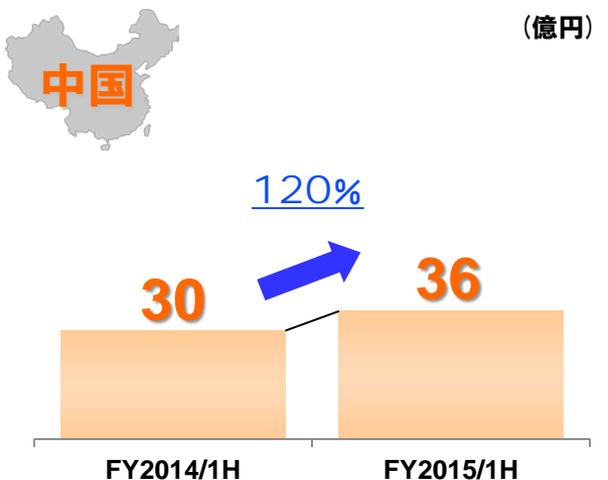
SIC: 普及型トータルステーション一時的停滞/2Q回復傾向



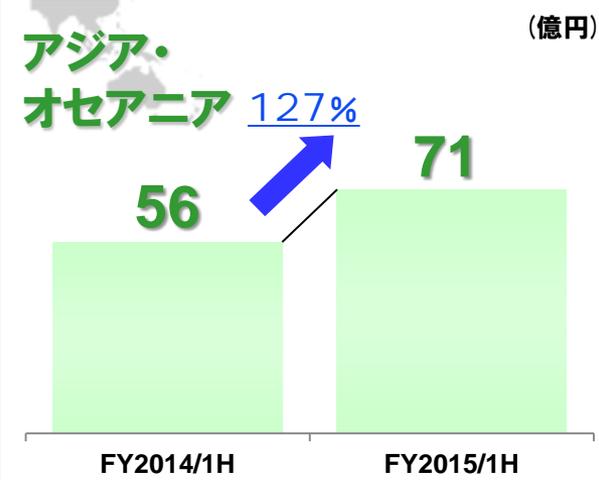
POC: ICT自動化施工堅調



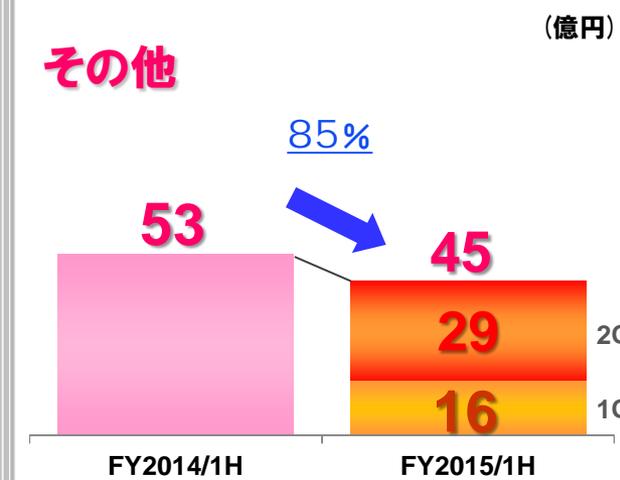
POC: ICT自動化施工堅調



ECC: 中国薬事認証取得による販売増



SIC・ECC: 販売は堅調



POC・ECC: 販売は停滞/2Q回復傾向

・ “その他”を除いた売上高

・ POC=ポジショニング・カンパニー、SIC=スマートインフラ・カンパニー、ECC=アイケア・カンパニー

I. 2016年3月期 第2四半期決算報告

I-1. 2016年3月期第2四半期決算報告

I-2. **カンパニー別状況**

(単位:百万円)

	FY2014/1H 実績	FY2015/1H 実績	前年同期比(%)
売上高	27,383	31,445	115%
営業利益 (営業利益率)	2,929 (10.7%)	1,853 (5.9%)	63%

上期業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

- 北米市場のICT自動化施工が堅調 (前年同期比110%)

- ネガティブ・ファクター

- IT農業の停滞は底打ち感はあるものの回復遅れ

(単位:百万円)

	FY2014/1H 実績	FY2015/1H 実績	前年同期比(%)
売上高	15,639	16,231	104%
営業利益 (営業利益率)	2,242 (14.3%)	1,883 (11.6%)	84%

上期業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

- 国内ICT自動化施工システムの販売伸長 (前年同期比130%)
- アジアのインフラビジネス拡充による販売増 (前年同期比140%)

- ネガティブ・ファクター

- 想定外の普及型トータルステーションの一時的停滞

(単位:百万円)

	FY2014/1H 実績	FY2015/1H 実績	前年同期比(%)
売上高	18,582	19,510	105%
営業利益 (営業利益率)	1,462 (7.9%)	2,058 (10.5%)	141%

上期業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

- DRI OCT Triton/3D OCT Maestroの堅調な販売
- スクリーニング市場向け眼底カメラ伸長 (前年同期比140%)
- 米国市場向け販売伸長 (前年同期比130%)

- ネガティブ・ファクター

- 中南米市場の停滞

II. 2016年3月期通期計画

II-1. 2016年3月期通期計画

II-2. 下期以降の注力事項

II-3. まとめ

FY2015 通期計画見直し 概要

変化を先取りしたスピード経営

上期実績

売上高 想定した売上に未達 $\Delta 40$ 億円
(前年同期比106%、629億円)

未達要因

- ・POC: IT農業は底打ち感はあるものの回復遅れ
- ・SIC: 普及型トータルステーションの一時的停滞

通期計画

売上高 外部環境の変化に応じ **見直し**
1,500億円 \rightarrow 1,430億円 (前年度比111%)
 $\Delta 70$ 億円 ($\Delta 4.7\%$)

営業利益 190億円 (前年度比118%) で **変更せず**

具体的施策

- ・販管費 **8%削減** **着手**
+ 原価低減 + 為替前提の変更 (\$=115円 \rightarrow 120円)

FY2015 通期計画 <増収・増益(通期)>

(単位: 百万円)

[連結]	FY2014		FY2015				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計		通期		
	実績	実績	実績	前年同期比 (%)	新計画	修正額	前年度比 (%)
売上高	59,402	128,569	62,933	106%	143,000	△7,000	111%
営業利益 (営業利益率)	5,905 (9.9%)	16,041 (12.5%)	4,620 (7.3%)	78%	19,000 (13.3%)	0	118%
経常利益	5,640	14,880	4,019	71%	17,500	0	118%
当期純利益*1	3,489	8,670	2,426	70%	10,800	0	125%
ROE		14.8%			17%		
ROIC		10.9%			13%		
配当 (配当性向)	8円 (25%)	16円 (20%)	12円 (53%)		24円 (24%)		
為替換算 レート*2 (期中平均)	USD	103.51円	110.03円	121.50円		120.81円	
	EUR	139.07円	138.68円	134.60円		132.48円	

*1 会計基準の改正により、連結財務諸表では「親会社株主に帰属する当期純利益」と記載されています。

*2 為替レートは10月以降120円/ドル、130円/ユーロを前提としております

FY2015 通期計画（カンパニー別） <増収・増益(通期)>

(単位: 百万円)

[連結]		FY2014		FY2015				
		第2四半期累計	通期	第2四半期累計		通期		
		実績	実績	実績	前年同期比 (%)	新計画	修正額	前年度比 (%)
売上高	ポジショニング	27,383	58,672	31,445	115%	68,000	△4,000	116%
	スマートインフラ	15,639	33,909	16,231	104%	38,000	△4,000	112%
	アイケア	18,582	41,240	19,510	105%	47,000	0	114%
	その他	3,493	6,558	2,820	81%	5,000	0	76%
	消去	△5,697	△11,812	△7,073		△15,000	1,000	
	合計	59,402	128,569	62,933	106%	143,000	△7,000	111%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	2,929 (10.7%)	6,652 (11.3%)	1,853 (5.9%)	63%	7,500 (11.0%)	0	113%
	スマートインフラ	2,242 (14.3%)	5,965 (17.6%)	1,883 (11.6%)	84%	7,000 (18.4%)	0	117%
	アイケア	1,462 (7.9%)	5,093 (12.3%)	2,058 (10.5%)	141%	6,500 (13.8%)	0	128%
	その他	136 (3.9%)	163 (2.5%)	94 (3.3%)	69%	400 (8.0%)	0	245%
	調整	△866	△1,833	△1,269		△2,400	0	
	合計	5,905 (9.9%)	16,041 (12.5%)	4,620 (7.3%)	78%	19,000 (13.3%)	0	118%

II. 2016年3月期通期計画

II-1. 2016年3月期通期計画

II-2. 下期以降の注力事項

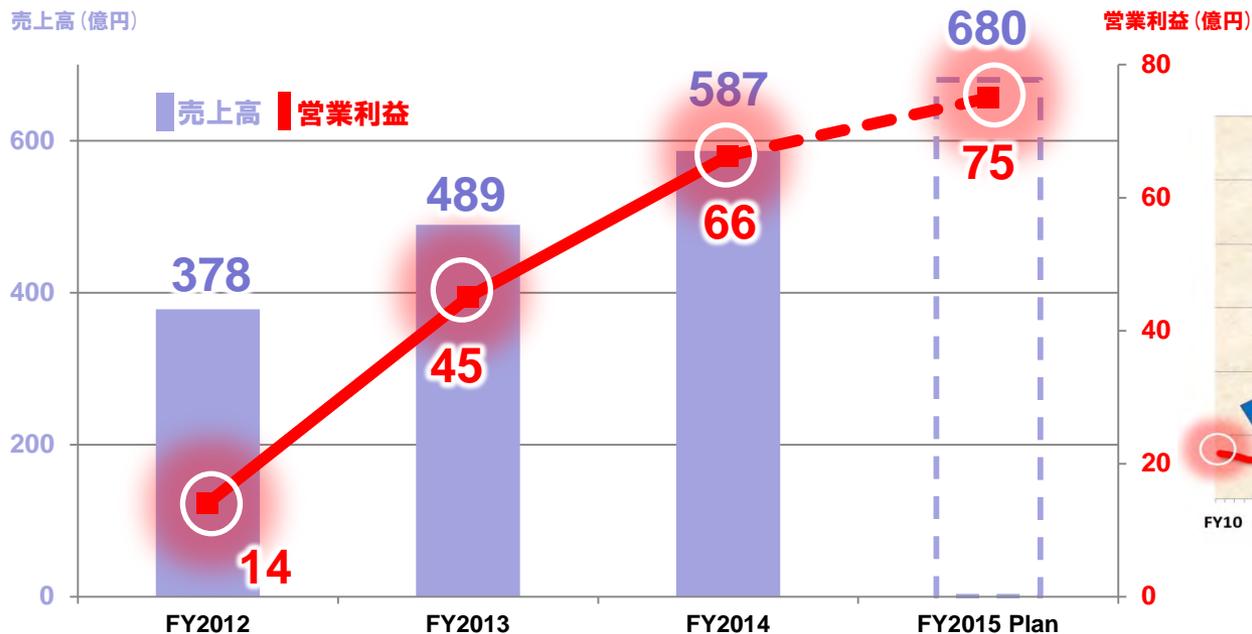
II-3. まとめ

1. ポジショニング

注力事項

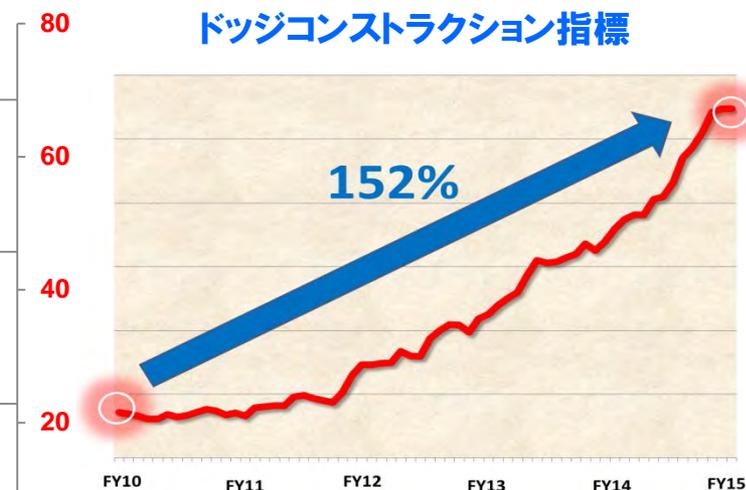
- ICT自動化施工: 堅調な北米建設市場での売上拡大
- IT農業: 新たなシナジーの創出
- 通期計画見直しへの対応

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

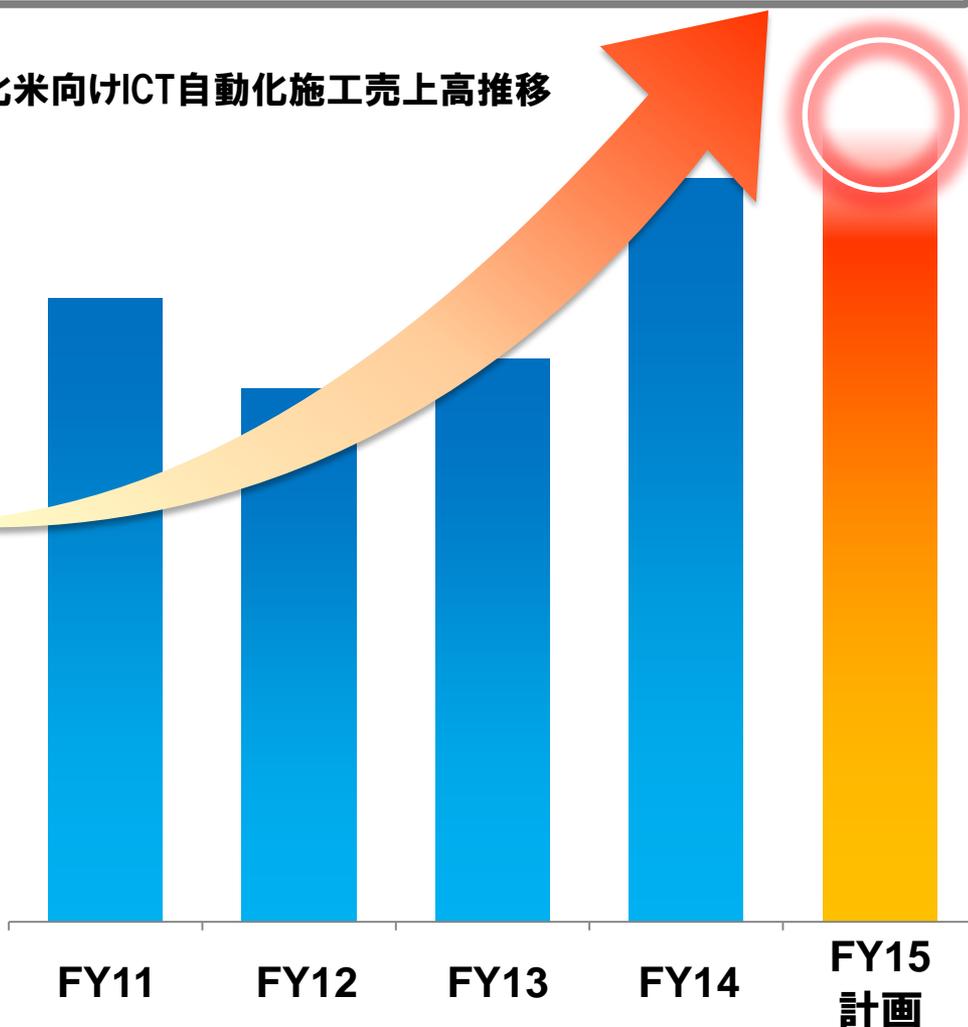
ドッジコンストラクション指標



米国コンストラクション投資額推移

北米のICT自動化施工事業は活況

北米向けICT自動化施工売上高推移



- ① **革新的**新製品リリース
- ② **堅調**な北米建機市場



継続的な投資により
市場での**優位性**を高める

農業IT化を加速

トプコンのIT農業戦略

主戦場のオートステアリングに加え、CropSpecやM&Aで得たロードセル等のセンサー類を充実させてトータルソリューション力を強化する。

ポートフォリオの充実



位置情報 + 計量情報 + 機械制御

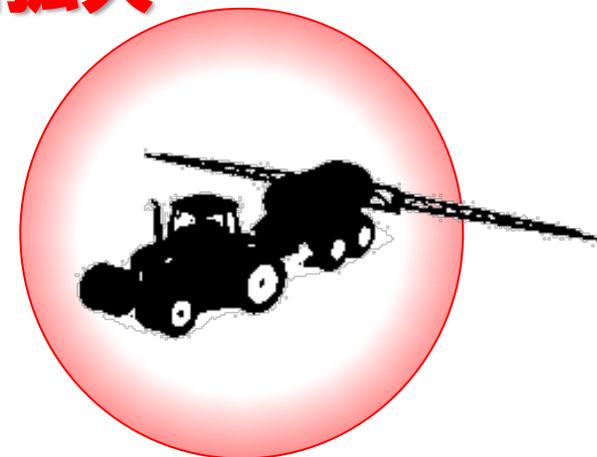


積極的なIT農業戦略に基づいた新たなシナジーの創出

全世界向けIT農業事業売上高推移



- ① **戦略的新製品リリース**
- ② **M&Aのシナジー効果→販路拡大**



買収企業とのシナジー効果
加速による**シェアアップ**

市場環境

➡ IT農業は底打ち感はあるものの回復遅れ

営業利益改善

販管費削減

- ① 人員削減 ✓ 実施済
- ② 開発投資における選択と集中

2015年

2016年

4月

7月

10月

1月

3月

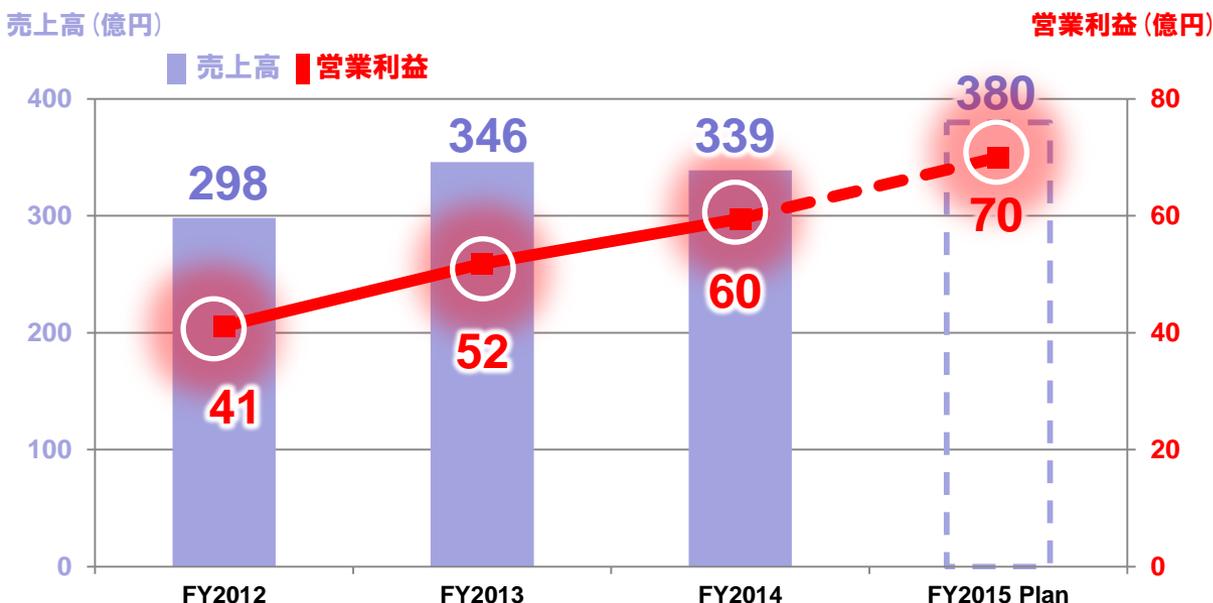
<p>GPS</p>	<div data-bbox="415 349 598 528"> <p>GCX2 革命的GNSS受信機</p> </div> <div data-bbox="521 556 705 742"> <p>NET-G5 448チャンネル 準天頂・Beidou対応</p> </div> <div data-bbox="975 414 1255 535"> </div> <div data-bbox="1101 599 1226 742"> </div> <div data-bbox="1304 492 1458 606"> </div> <div data-bbox="1468 542 1651 728"> </div> <div data-bbox="1613 349 1796 535"> </div>
<p>MC & AG*</p>	<div data-bbox="386 849 608 1042"> <p>アスファルト転圧管理システム (C-63)</p> </div> <div data-bbox="821 863 1033 1028"> <p>ショベルシステム用新型ディスプレイ (Light bar内臓) (GX-55)</p> </div> <div data-bbox="1091 799 1304 1013"> </div> <div data-bbox="1284 963 1497 1149"> </div> <div data-bbox="1468 878 1767 1063"> </div>

* MC=マシンコントロール
AG=農業

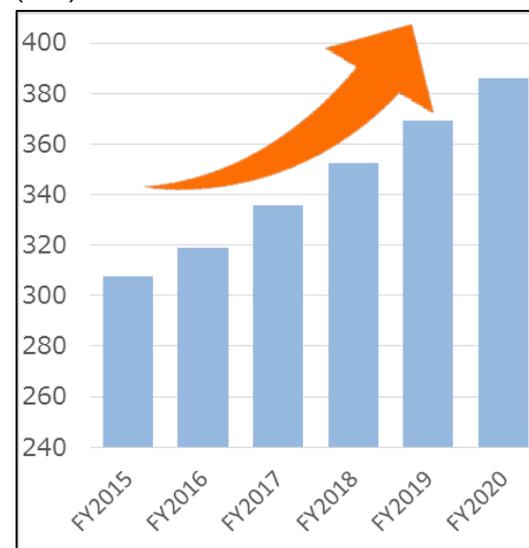
2. スマートインフラ

注力事項

- 国内ICT自動化施工システムの販売伸長
- アジアインフラビジネスの拡充
- 新型トータルステーション（高付加価値商品）の投入による売上及び利益増
- 3D計測ビジネス（IP-S3/Scanner）の伸長



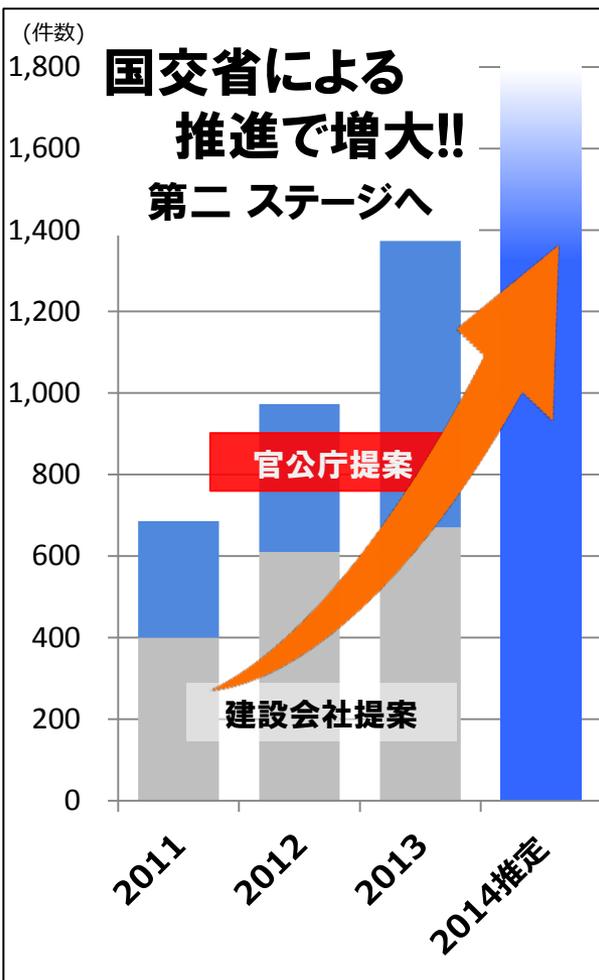
世界の建設需要見込み (兆円)



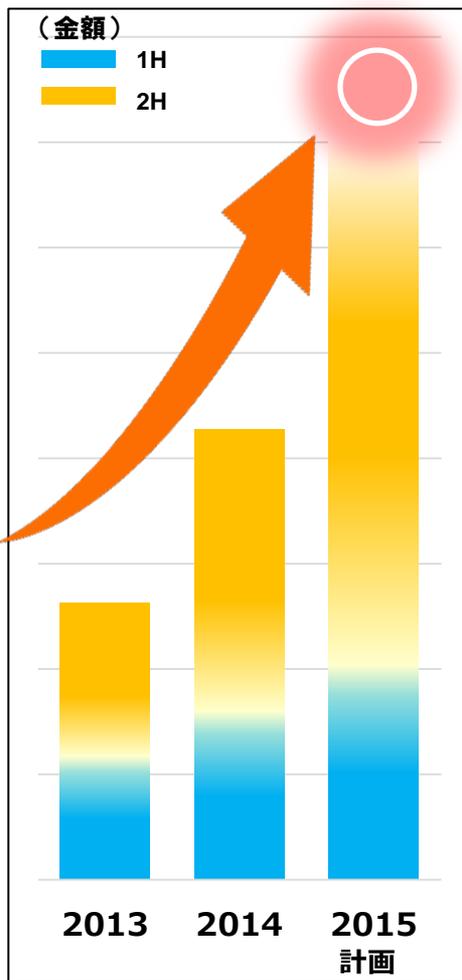
*矢野経済研究所、みずほ総合研究所資料に基づき作成

<新製品の投入・サポート体制の強化>

■ 情報化施工技術の総活用回数

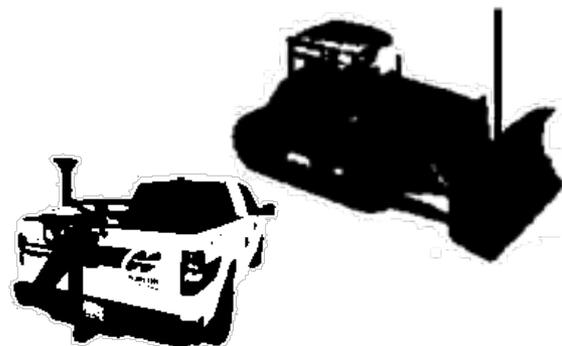


■ 国内MC販売推移



マシンコントロールビジネスを拡大!!

■ 新製品の投入



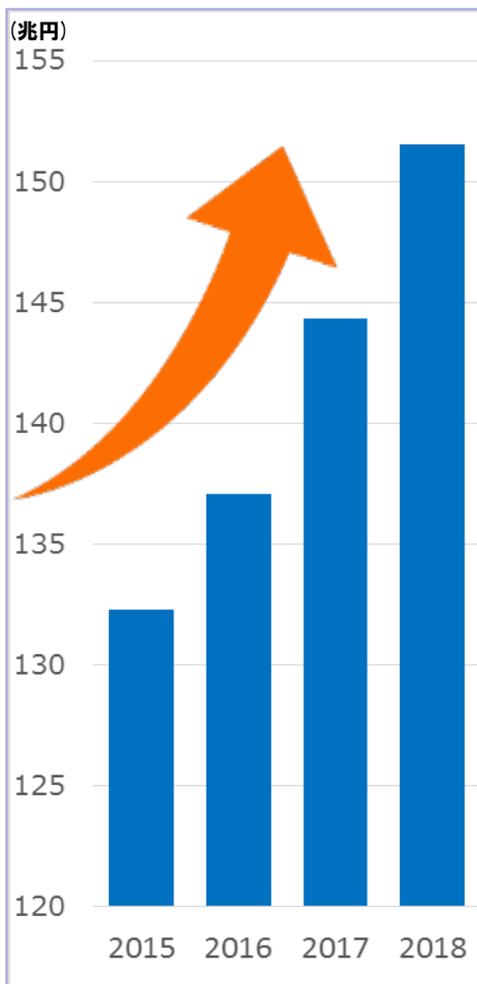
■ 人材育成/サポート体制の強化・充実



西日本に
トレーニングセンターの増設を予定

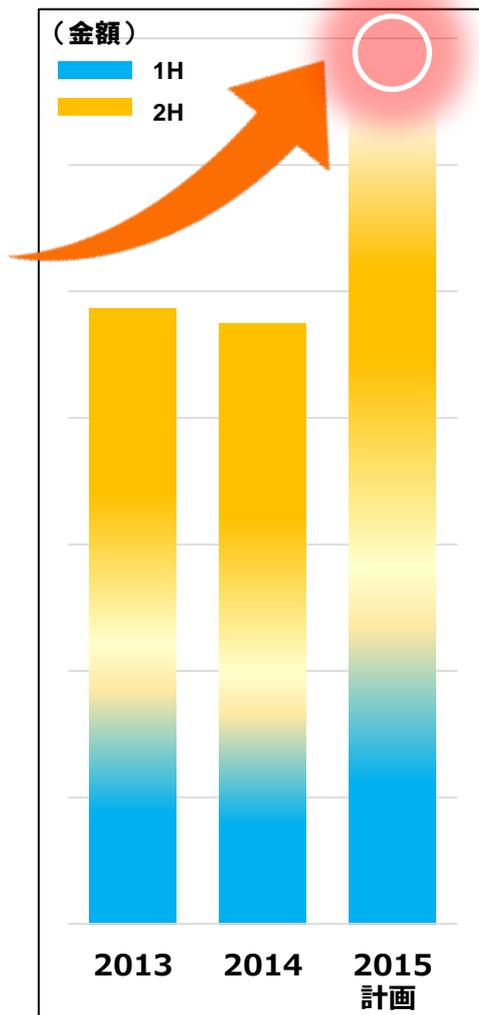
出典: 国土交通省 情報化施工推進会議資料を引用
但し、2014年は当社推定値

■ アジア建設需要見込



*矢野経済研究所、みずほ総合研究所資料に基づき作成

■ アジア販売推移



成長するアジア市場に集中!!

**インドにて2015年度上期
前年同期比200%を実現!!**

インド倍増計画



販路の拡大!!

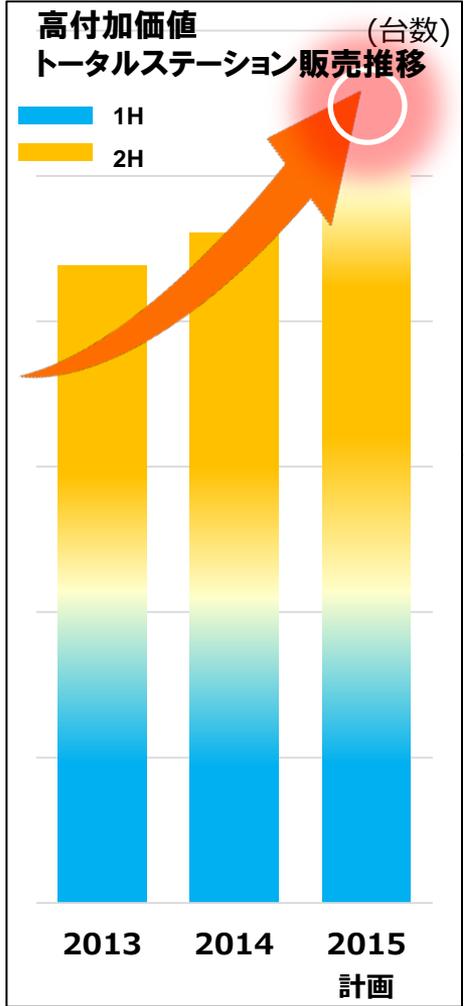
新型トータルステーション (高付加価値製品) の投入 Smart Infrastructure

<高付加価値製品へのシフトを加速>

世界初!! IoT 搭載トータルステーションの投入!!



高付加価値トータルステーションの需要拡大



普及型トータルステーションの一時的停滞

高付加価値トータルステーションに注力!!



投入した新製品が好調

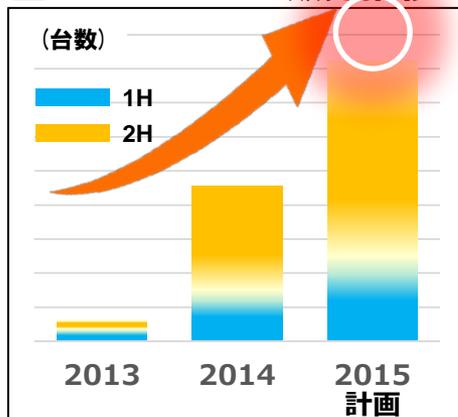
3Dデータに基づく
施工・計測作業の増大

効率化

省力化

3D計測の需要拡大

■ レーザースキャナー販売推移

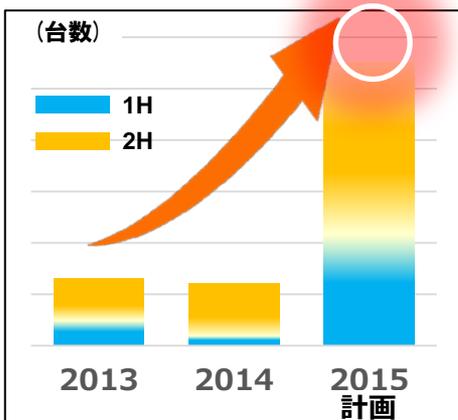


レーザースキャナーの ラインアップを拡充!!



GLS-2000ラインアップの拡充
(2015年7月)

■ モバイルマッピングシステム 販売推移



高機能モデルの投入 (超コンパクト/5倍の高密度点群)



市場環境

- 普及型トータルステーションの一時的停滞

営業利益改善

原価低減

新型トータルステーションの投入

販管費削減

開発投資における選択と集中

2015年

2016年

4月

7月

10月

1月

3月

3D計測、他



IP-S3



Image Master UAS



Short type
GLS-2000シリーズ Long type



トータルステーション、他



TP-L5



MS1005/NET1005



GPT-3500



TKS-400R



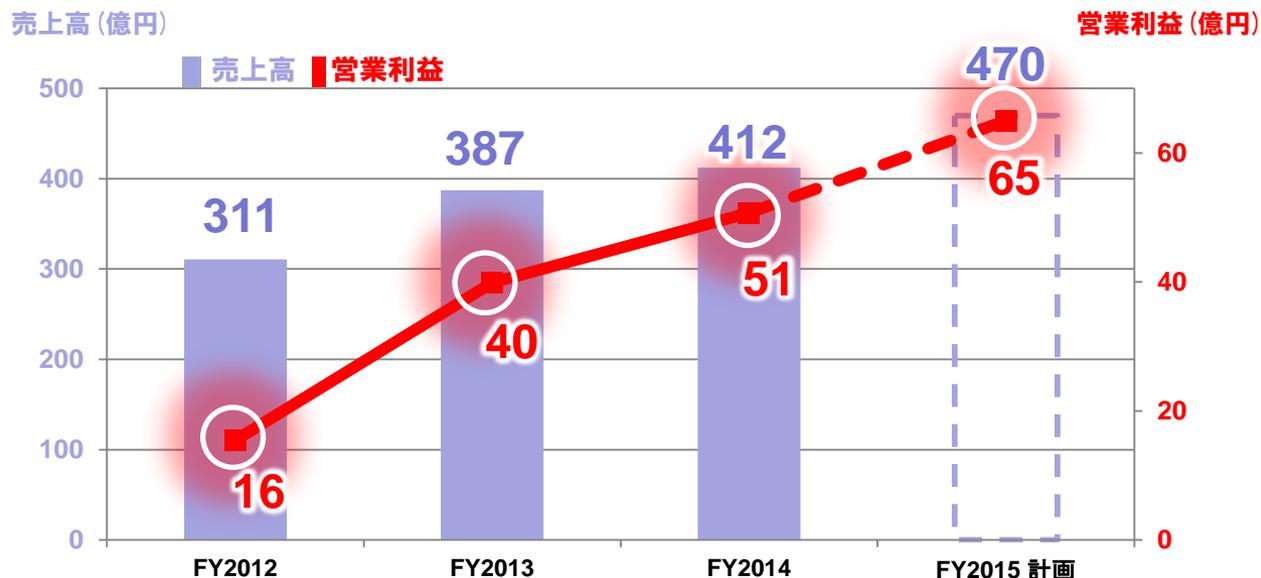
DS-200i



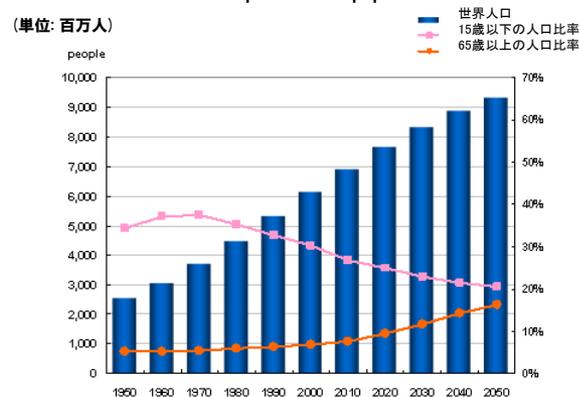
3. アイケア

注力事項

- OCT血管造影機能を武器にプレミアムOCT Tritonの販売加速
- スクリーニング市場・治療器市場における売上伸長
- 3D OCT-1 MaestroのFDA認証取得強化



Ageing Society – Demographic trend (世界的な高齢化)
Prospect of world population



出典: United Nations Report

DRI OCT Triton

3D OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY

研究・眼科臨床市場

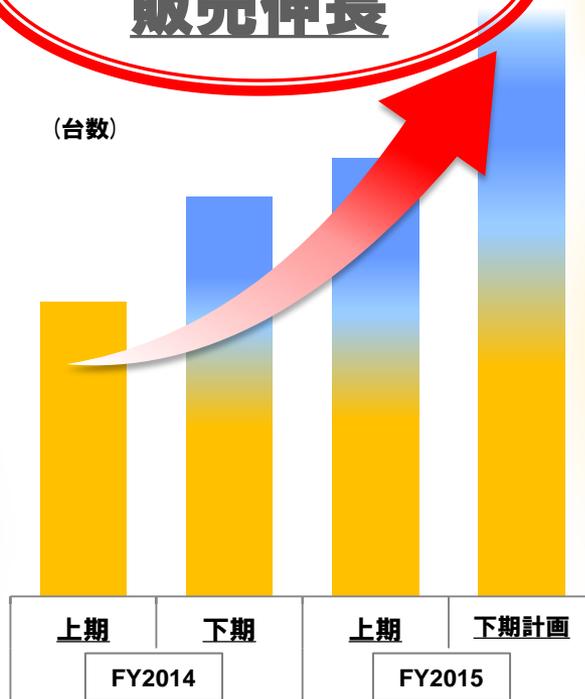
**2015年度下期も
販売伸長**

3D OCT-1 Maestro

3D OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY

眼科医・スクリーニング市場

誰でも簡単操作



**健康診断・クリニック等
眼科を超えた普及機**

<販売推移・進捗>

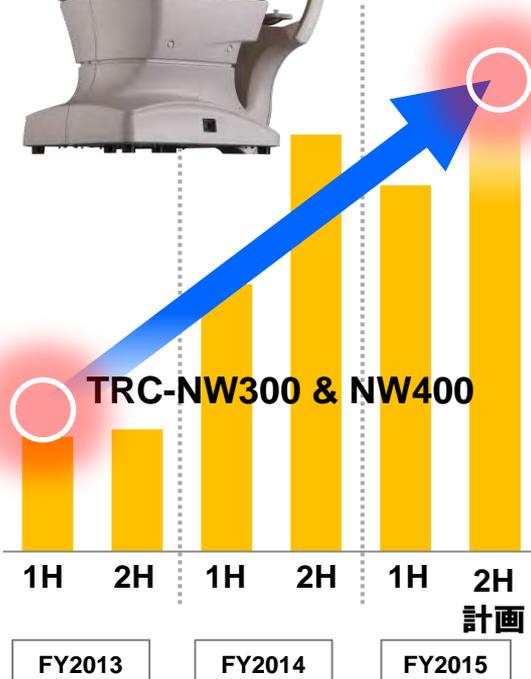
グローバル販売台数推移

スクリーニング



フルオート

誰でも撮れる
眼底カメラ

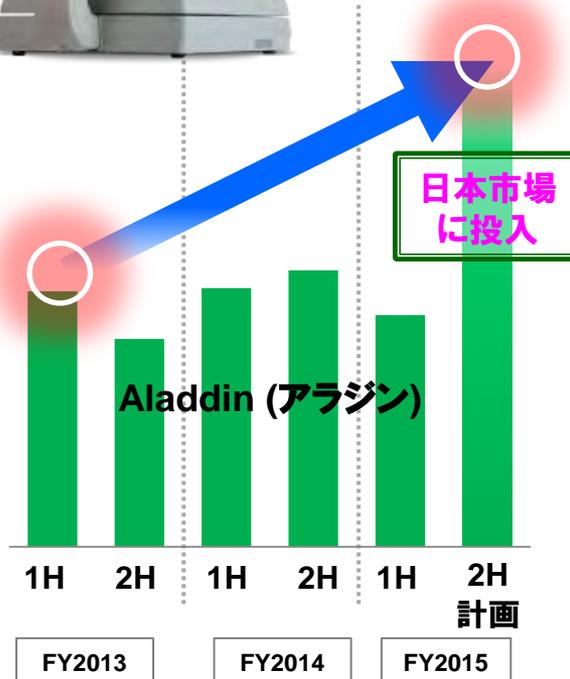


白内障術前検査機器

(眼軸長測定機)



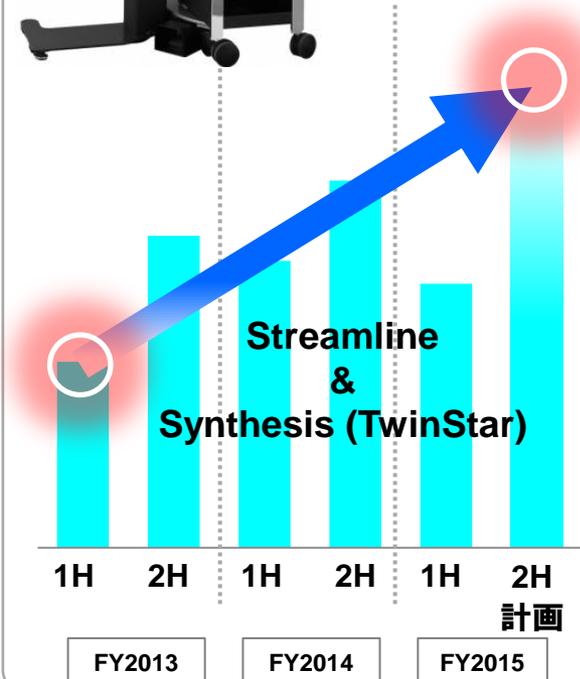
角膜形状から
眼軸長まで
一台で簡単計測



レーザー治療器



あらゆる眼底疾患
に一台で対応
マルチカラー
レーザー



2015年

4月

7月

10月

2016年

1月

3月

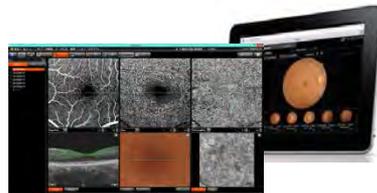
検査・診断



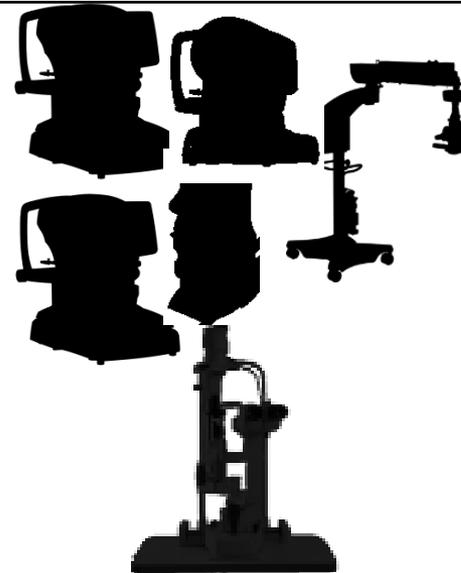
Triton



IMAGEnet 6
Integral



IMAGEnet6 Ver.up
OCT Angiography
(OCT血管造影)



FDA

FDA認可
取得完了



角膜内皮細胞撮影装置
SP-1P



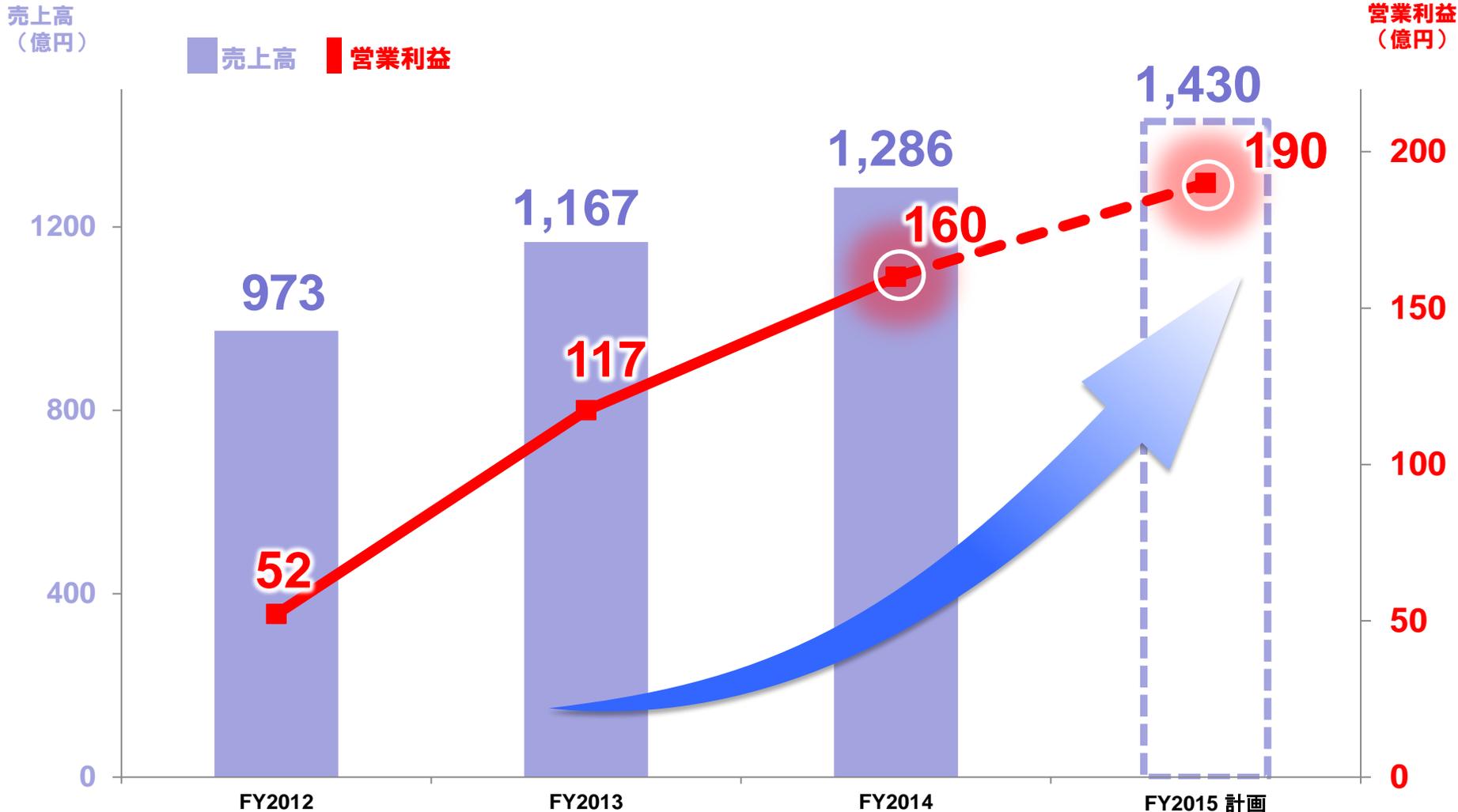
II. 2016年3月期通期計画

II-1. 2016年3月期通期計画

II-2. 2Q以降の注力事項

II-3. まとめ

年度別業績推移



中長期の成長戦略を見据え、
直近の事業環境変化に敏感に反応し、
スピードをもって対応します。

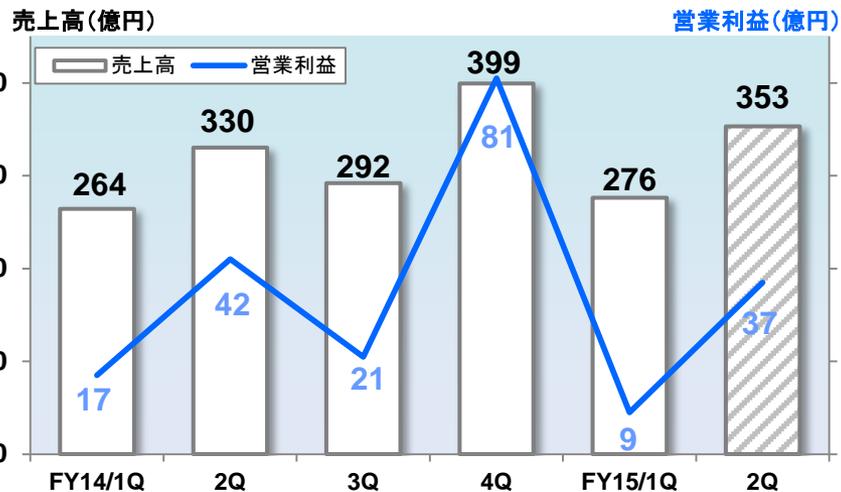
**Creativity
& Growth**

ROE目標20%を目指して
企業価値向上に努めます

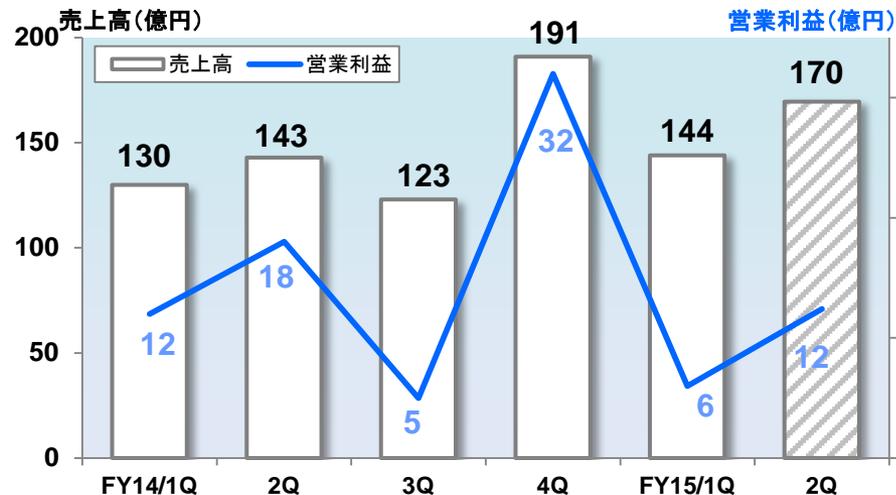
III. 参考資料

四半期別業績推移

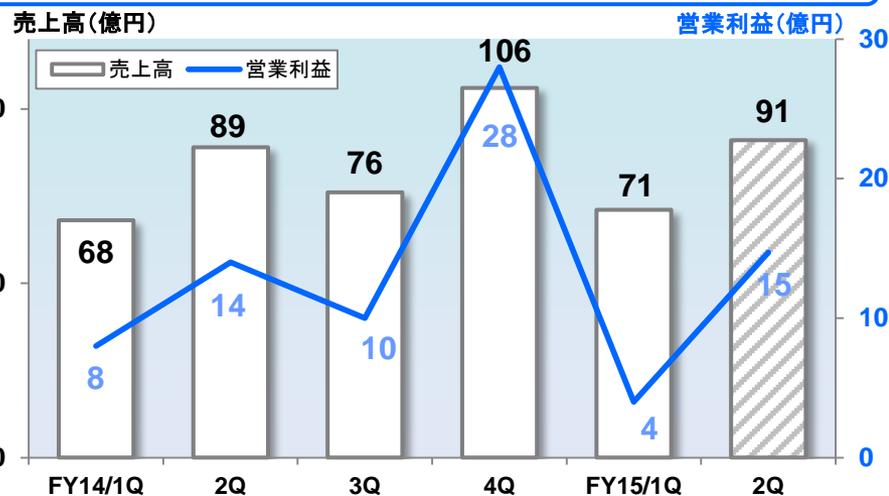
1. 全社



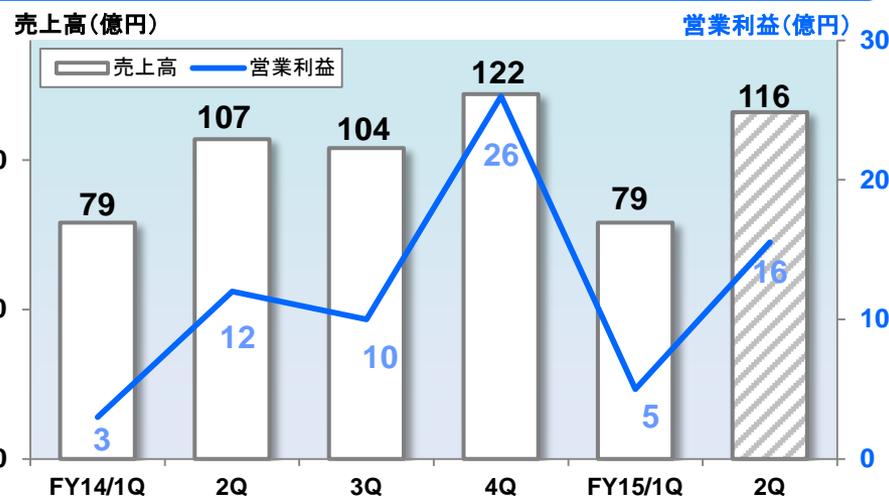
2. ポジショニング



3. スマートインフラ

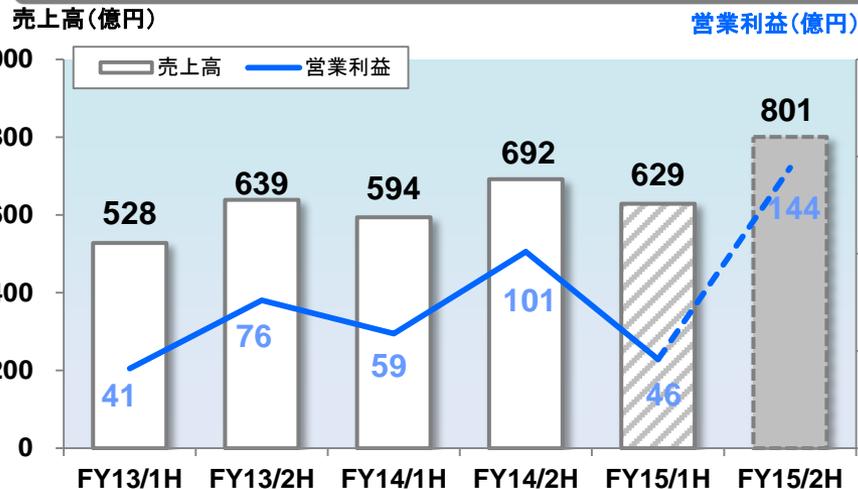


4. アイケア

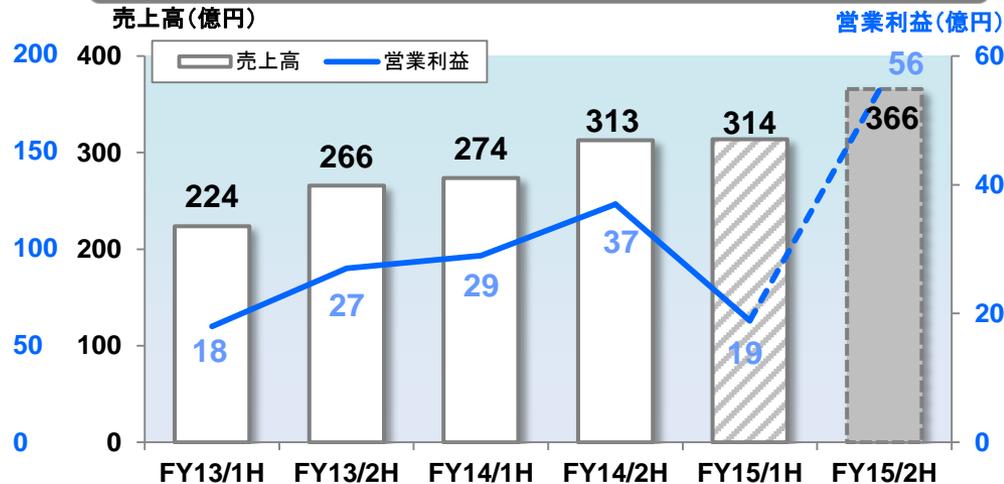


半期別業績推移

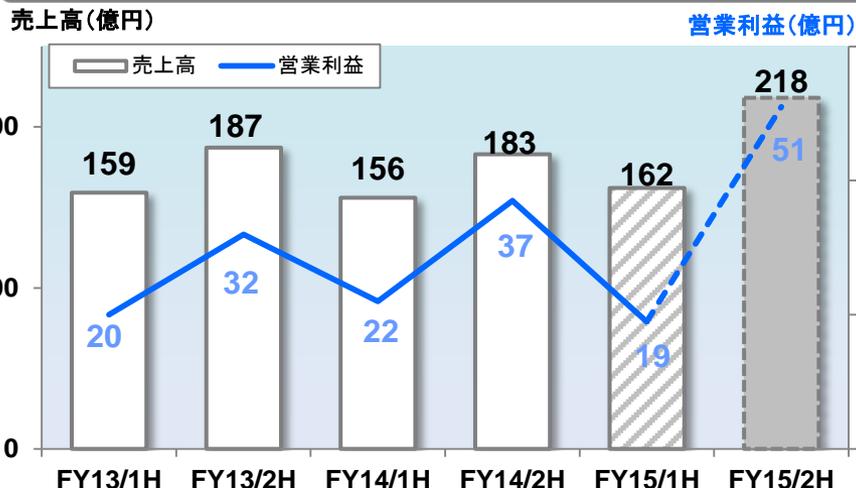
1. 全社



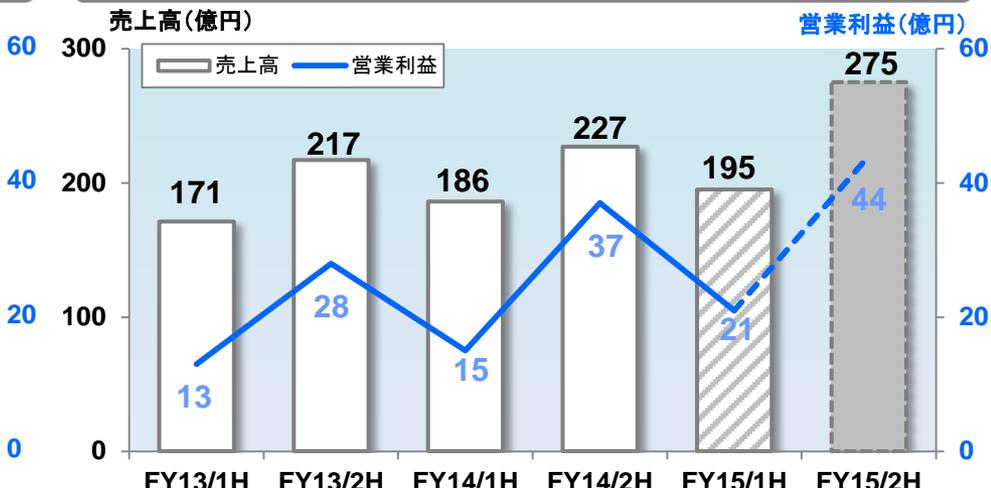
2. ポジショニング



3. スマートインフラ



4. アイケア



当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 総務・法務統括部 広報・IR部

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <http://www.topcon.co.jp>